

教科 教科名(英語)	科目 英語コミュニケーション I	(必修)	授業時数 履修学年	3 単位 1 学年
---------------	---------------------	------	--------------	--------------

目標	日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
----	---

●学習内容

1学期	30時間	2学期	45時間	3学期	30時間
Comet (辞書の引き方に慣れる) Lesson 1 Japan's New Tourism	20	Lesson 4 Left to Right, Right?	20	Lesson 7 No Plastic or No Future	20
Lesson 2 Light from Creatures		Lesson 5 Banana Paper	10	Lesson 8 Oh My Cod!	
Lesson 3 Routes to the Top		Lesson 6 Patterns in Human Behavior			

教材	授業の進め方
Power On (東京書籍) フレーズで英単語3000(浜島書店) COMET(教研出版) Vision Quest(啓林館)	英語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた総合的な言語活動を通して授業を進めていく。また、各定期試験を通して定着を図る。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	英語の特徴やきまりについて言語材料と言語活動とを効果的に関連付けることを踏まえ、五つの領域別の目標を理解しているとともに、活用できる技術を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて具体的な課題等を設定し、情報を整理しながら考えなどを形成し、論理的に適切な英語で表現する力を身に付けている。
	習得する (わかる)	英語の特徴やきまりについて言語材料と言語活動とを効果的に関連付けることを踏まえ、五つの領域別の目標を理解している。	英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する課題を発見し、情報を整理しながら考えなどを形成し英語で表現する力を身に付けている。
評価方法	定期テスト・課題・ノート・授業観察	定期テスト・課題・ノート・授業観察	授業に取り組む姿勢や意欲(論文・レポートなどの自主的な取組も含む)

単元別 評価規準

Lesson 1 Japan's New Tourism

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解し、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、自分の住んでいる地域の魅力について、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。	過去と現在の日本の観光の状況について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の住んでいる地域の魅力について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。	過去と現在の日本の観光の状況について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の住んでいる地域の魅力について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。
	習得する (わかる)	動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解している。	過去と現在の日本の観光の状況について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の住んでいる地域の魅力について説明できる。	過去と現在の日本の観光の状況について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、言語活動を主体的に取り組もうとしている。

Lesson 2 Light from Creatures

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	受け身、現在完了形、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解し、光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて、受け身、現在完了形、現在完了進行形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、光る生き物について、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。	光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、光る生き物について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。	光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、光る生き物について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。
	習得する (わかる)	受け身、現在完了形、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。	光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、光る生き物について、情報や自分の考え方などについて説明できる。	必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、言語活動を主体的に取り組もうとしている。

Lesson 3 Routes to the Top

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	動名詞、不定詞、S+V+O[that 節]を用いた文の形・意味・用法を理解し、野口選手や好きなスポーツ選手について、動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、自分や友達の好きなスポーツ選手について、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。	野口選手や好きなスポーツ選手について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分や友達の好きなスポーツ選手について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。	野口選手や好きなスポーツ選手について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分や友達の好きなスポーツ選手について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。
	習得する (わかる)	動名詞、不定詞、S+V+O[that 節]を用いた文の形・意味・用法を理解している。	野口選手や好きなスポーツ選手について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分や友達の好きなスポーツ選手について説明できる。	必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、言語活動を主体的に取り組もうとしている。

Lesson 4 Left to Right, Right?

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	後置修飾の現在分詞、後置修飾の過去分詞、比較級・最上級を用いた文の形・意味・用法を理解し、日本や海外のマンガの形式やその翻訳について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日本のマンガやその形式について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。	日本や海外のマンガの形式やその翻訳について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日本のマンガやその形式について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。	日本や海外のマンガの形式やその翻訳について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日本のマンガやその形式について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。
	習得する (わかる)	後置修飾の現在分詞、後置修飾の過去分詞、比較級・最上級を用いた文の形・意味・用法を理解している。	日本や海外のマンガの形式やその翻訳について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日本のマンガやその形式について、について説明できる。	必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、言語活動を主体的に取り組もうとしている。

Lesson 5 Banana Paper

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	関係代名詞(主格), 関係代名詞(目的格), S+seem+to 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、バナナやバナナペーパー、バナナペーパー、バナナペーパープロジェクトについて、関係代名詞(主格), 関係代名詞(目的格), S+seem+to 不定詞などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、バナナペーパー製品やバナナペーパーの販売促進について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。	バナナやバナナペーパー、バナナペーパープロジェクトについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、バナナペーパー製品やバナナペーパーの販売促進について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。	バナナやバナナペーパー、バナナペーパープロジェクトについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、バナナペーパー製品やバナナペーパーの販売促進について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。
	習得する (わかる)	関係代名詞(主格), 関係代名詞(目的格), S+seem+to 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	バナナやバナナペーパー、バナナペーパープロジェクトについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、バナナペーパー製品やバナナペーパーの販売促進について説明できる。	必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、言語活動を主体的に取り組もうとしている。

Lesson 6 Patterns in Human Behavior

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	It+be 動詞+形容詞+that 節, S+V [be 動詞以外+C], S+V+O+C[形容詞]を用いた文の形・意味・用法を理解し、人間行動に関する心理学実践の手順や結果について、It+be 動詞+形容詞+that 節, S+V[be 動詞以外+C], S+V+O+C[形容詞]などの理解を元に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、人間の行動に関する話題や行動をコントロールする方法について、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。	人間の行動に関する心理学実験の手順や結果について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、人間の行動に関する話題や行動をコントロールする方法について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。	人間の行動に関する心理学実験の手順や結果について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、人間の行動に関する話題や行動をコントロールする方法について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。
	習得する (わかる)	It+be 動詞+形容詞+that 節, S+V [be 動詞以外+C], S+V+O+C[形容詞]を用いた文の形・意味・用法を理解している。	人間の行動に関する心理学実験の手順や結果について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、人間の行動に関する話題や行動をコントロールする方法について説明できる。	必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、言語活動を主体的に取り組もうとしている。

Lesson 7 No Plastic or No Future

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	関係副詞 where, 関係副詞 when, 関係代名詞 what を用いた文の形・意味・用法を理解し、プラスチックごみによる海洋汚染について、動詞の関係副詞 where, 関係副詞 when, 関係代名詞 what などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、プラスチックごみに関する話題やごみを減らす対策について、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。	プラスチックごみによる海洋汚染について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみに関する話題やごみを減らす対策について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。	プラスチックごみによる海洋汚染について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみに関する話題やごみを減らす対策について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとして伝えることができる。
	習得する (わかる)	関係副詞 where, 関係副詞 when, 関係代名詞 what を用いた文の形・意味・用法を理解している。	プラスチックごみによる海洋汚染について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみに関する話題やごみを減らす対策について説明できる。	必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、言語活動を主体的に取り組もうとしている。

Lesson 8 Oh My Cod!

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解し、食料資源、フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、食べ物やマグロ漁獲量の現状について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。	食料資源、フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、食べ物やマグロ漁獲量の現状について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。	食料資源、フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について、必要な情報、話し手・書き手の意団、概要や要点を捉えようしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、食べ物やマグロ漁獲量の現状について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。
	習得する (わかる)	現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解している。	食料資源、フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について、必要な情報、話し手・書き手の意団、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、食べ物やマグロ漁獲量の現状について説明できる。	必要な情報、話し手・書き手の意団、概要や要点を捉えようしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、言語活動を主体的に取り組もうとしている。